

小論文テーマ一覧

国公立大学／一般入試／教育系統

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
北海道大・教育 教育(後)	和	文	人, 国, 社	持続可能な社会の実現のために集学的幸福観を日本が提言すべきだという文より、筆者の考えを批評する。(1000字)
	和	文	政, 社	ジェンダーの視点で不平等を可視化し学問や民主主義を再構築すべきだという文と図より、考えなどを書く。(1000字)
北海道教育大函館校・教育 国際地域(地域教育)(前)	和	文	自己, 教育	子ども同士が教え合い教員が教えない学び合いの授業を紹介する文より、教員に必要な配慮と視点などを書く。(950字)
岩手大・教育 学校教育教員養成(小学校教育)(後) 学校教育教員養成(特別支援教育)(後)	和	文	人	他者との共生的関係を築くには弱さが不可欠だと述べた文より、教師として身につけたい力などを論じる。(1200字)
宮城教育大・教育 学校教育教員養成(初等教育)(前／文系型) 学校教育教員養成(初等教育)(前／理系型) 学校教育教員養成(中等教育(国語))(前) 学校教育教員養成(中等教育(社会))(前) 学校教育教員養成(中等教育(英語))(前) 学校教育教員養成(中等教育(数学))(前) 学校教育教員養成(中等教育(理科))(前) 学校教育教員養成(特別支援教育)(前／文系型) 学校教育教員養成(特別支援教育)(前／理系型)	和	文, 統	社, 教育	発達障がい児の特性・中高生の学習到達度を示す文と図より、児童への支援策や主体的学習の指導法を述べる。(1100字)
秋田大・教育文化 学校教育(初等中等教育)(前／英語型)	英	課	人, 教育, 教科	日本人学生は英語で論文を書く前にもっと日本語で執筆の練習をすべきか、英語で考えを論じる。(330字)
学校教育(特別支援教育)(後) 学校教育(こども発達)(後)	和	課	人, 社	障がいのある人たちが「障がいはい不便だが不幸ではない」と主張することについて、考えを述べる。(800字)
学校教育(初等中等教育)(後／英語型)	和	文	人, 国, 教育	外国にルーツを持つ日本語指導が必要な児童生徒が過去最多だという記事より、教師としての取り組みを書く。(800字)
学校教育(初等中等教育)(後／一般小)	和	統	人, 教育	6か国における若者の意識調査結果を示すグラフより、今後日本の学校教育が取り組むべき方策などを述べる。(800字)
福島大・人文社会学群 人間発達文化学類(教育実践)(前) 人間発達文化学類(特別支援・生活科学)(前)	和	文	人, 社	文学のなかの障がい者像の変遷を論じた文より、「感動ポルノ」の観点から現代社会の障がい者像などを書く。(1200字)
	和	文	社, 教育	外部の影響でつくられた子どもの心の性差がその後の人生にも影響し得るという文より、自身の考えを書く。(1200字)
人間発達文化学類(後／A系)	和	文	科	脳は生存に影響しない部分で思い込みにより省エネを図るという文より、脳の特性について考えなどを述べる。(1200字)
茨城大・教育 学校教育教員養成(教科教育(国語))(前) 学校教育教員養成(教科教育(社会))(前)	和	文	人	語いのカテゴリーには母語のシステムの理解が必要だという対話文より、会話における注意点などを書く。(800字)
	和	文	人, 政	リベラルアーツ教育の目的を論じた文より、現代社会における社会科教育の役割などを述べる。(800字)
筑波大・人間学群 教育学類(後)	和	文	教育	サステナビリティ教育のあり方を述べた文より、現状の課題解消のための生徒に対する教育方法などを論じる。(1000字)
障害科学類(後)	和	文	社	障がい者の困難は社会や環境に原因があるという文より、制度や意識の偏りに対する改善策などを述べる。
宇都宮大・共同教育 学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(家政))(前) 学校教育教員養成(教育人間科学系)(前) 学校教育教員養成(人文社会系)(前) 学校教育教員養成(自然科学系)(前)	和	文	人, 社	他人の期待を背負いすぎる姿勢が心の病の原因だという文より、学校における承認欲求について考えを論じる。(800字)
	和	文	人, 芸	小説の礼儀作法は読者と柔軟に交渉する関係だという文より、小説以外の文化事象の分類方法などを書く。(900字)
	和	文	科	科学は真理と虚偽の間のグレーな領域で営まれるという文より、二分法的思考のもたらす問題点などを述べる。(400字)
	和	文	生, 教科	2人がそれぞれの普通列車に乗って駅まで移動する方法を述べた文より、計算など数学の問題に答える。
	和	統	自己, 生	食の外部位化・共働き世代の年次推移を示す図より、健康で持続可能な生活の実現に必要な取り組みなどを書く。(900字)
群馬大・共同教育 学校教育教員養成(人文社会系(国語))(前) 学校教育教員養成(人文社会系(社会))(前) 学校教育教員養成(人文社会系(英語))(前) 学校教育教員養成(自然科学系(数学))(前) 学校教育教員養成(自然科学系(理科))(前) 学校教育教員養成(自然科学系(技術))(前) 学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(音楽))(前) 学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(美術))(前) 学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(家政))(前) 学校教育教員養成(芸術・生活・健康系(保健体育))(前) 学校教育教員養成(教育人間科学系(教育))(前) 学校教育教員養成(教育人間科学系(教育心理))(前) 学校教育教員養成(教育人間科学系(特別支援教育))(前)	和	課	科, 自然, 医, 教科	半導体を用いたダイオードの構造・DNA塩基配列の突然変異など4つの課題より2つ選び、説明を行う。
	和	課	自然, 教科	関数 $y = f(x)$ と x 軸で囲まれた図形の面積を $S(k)$ とするとき、グラフの作成など数学の問題に答える。
	和	課	自然, 教科	漸化式と三角関数を用いた数列の一般項の表記・与えられた不等式の証明問題など、数学の問題に答える。
	和	課	自然, 教科	与えられた関数の最大値と最小値・定積分の計算・極限値と定積分との関係など、数学の問題に答える。
	和	文	人	議論を深めるには知識を活用して問いを立てることが大切だという文より、議論の重要性などを述べる。(600字)
	和	文	人	料理や自炊が敬遠されるようになったという対話文より、コスバやタイバについて考えなどを述べる。(600字)
	和	文	教育	先生は生徒への影響力と限界を見据える意識を持つべきだという文より、筆者の意見について考えを論じる。(400字)
	和	文, 統	人	再読と思い出す作業のどちらが記憶定着に役立つかを説明する文と図表より、実験結果について考えを述べる。(600字)
	和	文, 統	人	人間は本能的に万物に意味を求めるという文と図より、学習にとって意味を求めることの効果などを論じる。(600字)
	和	課	国, 自己, 教育	ある地域における社会の変化が遠隔地域の社会に影響をもたらす事例を挙げ、その要因と背景などを説明する。(1000字)
埼玉大・教育 学校教育教員養成(教科教育(社会))(前)	和	文	科	A I の安全感が人間の悩み相談には貴重だという文より、人工知能の長短とよい関係を築く方法などを述べる。(600字)
お茶の水女子大・文教育 人間社会科(教育科学・子ども学)(後)	和	文	人, 社	非専門家の経験を認めて対話することが重要だという文より、必要とされる社会や教育のあり方を述べる。(1000字)
東京学芸大・教育 学校教育教員養成(中等教育・家庭)(前)	和	課	社, 教育	資産形成を学ぶことが重要視されている社会的背景と、高等学校家庭科で学ぶ意義について考えなどを書く。
	和	文	環	途上国への服のリサイクルを問題視する文より、持続可能な衣生活のために必要な家庭科教育などを述べる。

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
東京学芸大・教育 学校教育教員養成(中等教育・書道)(前)	和	課	芸, 教科	音楽や美術とは異なる書道の芸術としての特質を挙げ、書道ならではの学び方や指導の仕方を述べる。(300字)
	和	課	芸, 教科	前漢と後漢時代の隷書の作例から2点を挙げ、それぞれの概要と書風の差異を説明する。(400字)
学校教育教員養成(特別支援教育)(前)	和	課	人, 教育	教員にとって教養とは何か、教養が必要な理由について自身の考えを述べる。(600字)
学校教育教員養成(養護教育)(前)	和	課	教育	遊びに夢中になってやるべきことに取り組みえない子どもに対し、小学校の教員としての声かけの仕方を述べる。(600字)
	和	統	人, 医他	死因別にみた死亡率の推移を示す図より、ガンと生きる社会づくり実現への取り組みについて考えなどを書く。(1500字)
教育支援(教育支援(生涯学習・文化遺産教育))(前) 教育支援(教育支援(ソーシャルワーク))(前) 教育支援(教育支援(多文化共生教育))(前) 教育支援(教育支援(表現教育))(前)	和	文	人, 芸	アートは管理された世界から想像力を取り戻す触媒だという文を要約し、自身が企画したい活動を説明する。(800字)
	和	文	社	障がい者の移動を阻むバリアは社会の認識だという文より、筆者の意見を踏まえて自身の考えを述べる。(1000字)
	和	文	環, 自然	水田は多様な生き物のビオトープだという文より、自身が関心を持つ環境・食料問題について考えなどを書く。(900字)
	和	文	教育	学びは教わるものではなく自己との対話だという文より、近代の学校教育理念とは異なる考え方などを論じる。(600字)
	和	文	教育	放課後は子どもの声をもとに協働する場であるという文より、放課後子ども教室の強みと課題などを論じる。(1600字)
学校教育教員養成(初等教育・国語)(前) 学校教育教員養成(初等教育・社会)(前) 学校教育教員養成(初等教育・数学)(前) 学校教育教員養成(初等教育・理科)(前) 学校教育教員養成(初等教育・家庭)(前) 学校教育教員養成(初等教育・現代教育実践(学校教育プログラム))(前) 学校教育教員養成(初等教育・現代教育実践(環境教育プログラム))(前)	和	課	社, 教育	ICTを活用する社会科の授業において、教師はどのようなことに配慮した学習指導を行うべきかを述べる。(400字)
	和	課	社, 教育	資産形成を学ぶことが重要視されている社会的背景と、高等学校家庭科で学ぶ意義について考えなどを書く。(300字)
	和	課	環, 教育	小学校高学年の児童が地球温暖化問題を授業で扱うときに一番重要だと思う点について、自身の考えを書く。(300字)
	和	課	自己	理科で探究する楽しさと教える楽しさについて、自身の経験と理科を教える教員の立場から考えを書く。(300字)
	和	課	教育	国語教育で話し合いを重ねる学習が重視されるなか、話し合い活動を苦手とする児童への配慮などを述べる。(800字)
	和	文	環	途上国への服のリサイクルを問題視する文より、持続可能な衣生活のために必要な家庭科教育などを述べる。
	和	文	自然, 教科	円と直線の交点の midpoint の軌跡を求める過程を説明する文より、振り返って考察することのよさなどを述べる。
	和	文	教育	学校教育や師弟関係は普遍的な制度ではないという文より、現代日本の学校教育が抱える問題点などを論じる。(1200字)
	和	課	教育	国語教育で話し合いを重ねる学習が重視されるなか、話し合い活動を苦手とする児童への配慮などを述べる。(800字)
学校教育教員養成(中等教育・国語)(前)	和	課	教育	ICTを活用する社会科の授業において、教師はどのようなことに配慮した学習指導を行うべきかを述べる。(400字)
学校教育教員養成(中等教育・社会)(前)	和	課	社, 教育	円と直線の交点の midpoint の軌跡を求める過程を説明する文より、振り返って考察することのよさなどを述べる。
学校教育教員養成(中等教育・数学)(前)	和	文	自然, 教科	理科で探究する楽しさと教える楽しさについて、自身の経験と理科を教える教員の立場から考えを書く。(300字)
学校教育教員養成(中等教育・理科)(前)	和	課	自己	理科で探究する楽しさと教える楽しさについて、自身の経験と理科を教える教員の立場から考えを書く。(300字)
横浜国立大・教育 学校教員養成(言語・文化・社会系教育)(前) 学校教員養成(自然・生活系教育)(前) 学校教員養成(芸術・身体・発達支援系教育(特別支援教育))(前)	和	文	教育	「探求」の重要性和学校教育の役割を述べた文より、探求の授業のなかで教師に期待される役割などを論じる。(600字)
	和	文, 統	教育	日本の学校教育が抱える課題を述べた2つの文と図より、課題解決のために行うべき教科指導などを書く。(800字)
信州大・教育 学校教育教員養成(社会科教育)(前) 学校教育教員養成(図画工作・美術教育)(前)	和	文, 写	人, 国	パリ万博と大阪万博の概要を紹介する文と図より、大阪万博が開催された意義や成果・課題などを論じる。(800字)
上越教育大・学校教育 初等教育教員養成(前)	和	文	人, 社, 教育	今日子どもたちは教師より承認してくれる他者の評価を重んじるという文より、教師の存在などを論じる。(800字)
福井大・教育 学校教育(中等教育)(前／音楽) 学校教育(中等教育)(前／体育) 学校教育(初等教育)(前／音楽) 学校教育(初等教育)(前／体育)	和	課	芸, 教科	楽曲を研究することにはどのような意義があるか、具体的な方法を挙げながらそのように考える理由を述べる。
	和	統	教育, 保	保健体育の授業への意欲などを示す図より、心身の健康を保持増進するために授業で大切にすべきことを書く。(400字)
	和	文	人, 教育	ことばの扱い方には家庭環境や成育環境が反映されるという文より、教師としての対応などを述べる。
	和	統	社	出産や子育てに関する意識調査結果を示す7つの図より、日本の問題に対する取るべき対策などを書く。
静岡大・教育 学校教育教員養成(発達教育学(教育実践学))(前) 学校教育教員養成(発達教育学(幼児教育))(前) 学校教育教員養成(特別支援教育)(前) 学校教育教員養成(教科教育学(国語教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(社会科教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(数学教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(理科教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(音楽教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(美術教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(保健体育教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(技術教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(家庭科教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育学(英語教育))(前) 学校教育教員養成(初等学習開発学)(前) 学校教育教員養成(養護教育)(前)	和	統	教育	学校生活で身につけたいことを示す表より、教師の立場からみた問題点を挙げ解決策を述べる。
愛知教育大・教育 学校教員養成(義務教育・音楽)(前) 学校教員養成(義務教育・図画工作・美術)(前) 学校教員養成(義務教育・保健体育)(前) 学校教員養成(義務教育・ものづくり・技術)(前) 学校教員養成(義務教育・家庭)(前) 学校教員養成(義務教育・英語)(前) 学校教員養成(高等学校教育・国語・書道)(前) 学校教員養成(高等学校教育・地歴・公民)(前) 学校教員養成(高等学校教育・数学)(前)	和	文	教育	教育全般で育つことの重要性をもっと認識すべきだという文より、教えると育つとの関係について考えを書く。(600字)

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
愛知教育大・教育 学校教員養成(高等学校教育・理科)(前) 学校教員養成(高等学校教育・英語)(前) 学校教員養成(幼児教育)(前) 学校教員養成(特別支援教育)(前) 学校教員養成(養護教育)(前) 学校教員養成(義務教育・学校教育科学)(前) 学校教員養成(義務教育・生活・総合)(前) 学校教員養成(義務教育・ICT活用支援)(前) 学校教員養成(義務教育・日本語支援)(前) 学校教員養成(義務教育・国語)(前) 学校教員養成(義務教育・社会)(前) 学校教員養成(義務教育・算数・数学)(前) 学校教員養成(義務教育・理科)(前)	和	文	教育	教育全般で育つことの重要性をもっと認識すべきだという文より、教えると育つとの関係について考えを書く。(600字)
名古屋市立大・人文社会 心理教育(教育学)(後)	和	文	人	悪口の意味は人を傷つけることではないという文より、悪口が社会に与える影響とつき合い方などを述べる。(1100字)
	和	文	人, 社	中東地域では性別役割分担が変化してきたという文より、宗教と女性の社会的地位について考えなどを書く。(700字)
三重大・教育 学校教育教員養成(特別支援教育)(後) 学校教育教員養成(国語教育・初等教育)(後) 学校教育教員養成(音楽教育・初等教育)(後)	和	課	教育, 芸	小学校音楽科授業におけるリコーダー初期指導の事例を挙げながら、教師の適切な指導のあり方を述べる。(1200字)
	和	文	文, 社	アメリカ社会では障がい児の将来に日本ほど不安を抱えていないという文より、望ましい社会の方向性を書く。(800字)
	和	文	人	言葉は互いを繋ぐ大切な概念を共有して共生を可能にするものだという文より、言葉とのかかわり方を述べる。(1200字)
	和	文	社, 教育	発達障がい児の子どもに特性を伝えることを述べた文より、教員として特性を有する子への向き合い方を書く。(800字)
学校教育教員養成(国語教育・中等教育)(後)	和	文	人	言葉は互いを繋ぐ大切な概念を共有して共生を可能にするものだという文より、言葉とのかかわり方を述べる。(1200字)
滋賀大・教育 学校教育教員養成(後)	和	文	教育	子ども一人ひとりの自己実現が教育目標だという記事より、子どもの心に火をつけるための教育などを論じる。(480字)
大阪教育大・教育 学校教育教員養成(特別支援教育)(前) 学校教育教員養成(幼小教育(小学校教育))(前) 学校教育教員養成(次世代教育(教育探究))(前) 学校教育教員養成(次世代教育(ICT教育))(前/情報小) 学校教育教員養成(教科教育(社会科教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育(技術教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育(家政教育))(前)	和	課, 統	自然, 教科	ニクロム線の仕様を示す図表より、ニクロム線の長さや消費電力との関係など理科の問題に答える。
	和	文	人	生きた知識について・無私の境地という2つの文と写真より、生きた知識を身につける方法などを論じる。(1200字)
	和	文	社, 教育	ICTの教育現場への導入の進捗を述べた文より、自身が体験したICTツールの効果と活用時の配慮を書く。(800字)
	和	文	社, 教育	デジタル機器が子どもに与える悪影響を述べた文より、学校におけるスマートフォン使用への考えを書く。(800字)
	和	文	教育	子どもの主体性を育てる教育・自閉症スペクトラム障害の特性を述べた2つの文より、自身の考えなどを書く。(1600字)
	和	文, 統	社, 教育	幼少時の父親のしつけ・人口の流動を示す文と4つの図より、しつけのあり方について考えなどを論じる。(1600字)
	和	統	教育, 生	児童虐待の現状・給食の献立を示す4つの図より、児童虐待防止のために必要な取り組みの説明などを行う。(1100字)
教育協働(グローバル教育(日本語教育))(前) 教育協働(教育コミュニティ支援(心理科学))(前)	和	文	文, 医他	文化の特色・ホスピタリティを論じた2つの文より、文化論のディレンマに向き合うべき姿勢などを述べる。(1700字)
	和	文	法, 教育	子どもの貧困や守られるべき権利などを論じた文を要約し、筆者の主張を踏まえたうえで自身の考えを述べる。(1200字)
学校教育教員養成(次世代教育(ICT教育))(前/情報数)	和	文	社, 教育	ICTの教育現場への導入の進捗を述べた文より、自身が体験したICTツールの効果と活用時の配慮を書く。(800字)
養護教諭養成(前)	和	文, 統	社, 医他	ストレスと病気・小学生の交通事故の実情を示す文と図より、免疫力を上げる生活について考えなどを書く。(1200字)
学校教育教員養成(特別支援教育)(後) 学校教育教員養成(教科教育(国語教育))(後)	和	文	人	文章に実用的と芸術的という区別はないと述べた文より、筆者の主張について考えなどを論じる。(650字)
	和	文	教育	日本の教育の特徴と課題を述べた文より、すべての子どもに理解しやすい授業を行うための配慮を論じる。(800字)
教育協働(教育イノベーション(環境安全科学))(後) 教育協働(教育コミュニティ支援(心理科学))(後)	和	文	人	スキーマの説明とその働きを述べた文より、スキーマの長所を生かしつつ欠点が出ない方法を論じる。(800字)
	和	文	社	住まいの快適性・人為的事故防止のための安全対策を述べた2つの文より、自身の考えなどを論じる。(1200字)
神戸大・国際人間科 子ども教育(後)	和	文	人	日常での親しみと新奇さの感情は美的経験だという文より、親しんできたことを解釈し直す方法などを述べる。(1375字)
奈良教育大・教育 学校教育教員養成(教育発達(教育学))(前) 学校教育教員養成(教科教育(社会科教育・初等教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育(保健体育・初等教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育(音楽教育))(前)	和	課	社, 教育	デジタル式の教材と紙の教材を用いた学習の利点と欠点を挙げ、授業での教材の使い分けについて考えを書く。(800字)
	和	課	教育	児童・生徒が学校生活のなかで休憩することの意義について、自身の考えを述べる。(600字)
	和	課	教育, 芸	学校教育における美術や図画工作の授業の意義について、自身の考えを述べる。(400字)
	和	課	教育, 生	学校生活を楽しくすれば朝寝坊が減ると断言できないという理由を説明し、学校ができることを述べる。(600字)
	和	文	社	組織のルールは男性に有利だという文より、組織規範とジェンダー規範との関係で生じる課題などを論じる。(1100字)
	和	文	社, 教育	学校の部活動を地域に展開する方針を示す4つの資料より、学校や地域に与える影響と意義や課題などを書く。(600字)
	和	文	教育	通知表の評価はあくまで物差し1つに過ぎないという記事より、筆者の主張について考えを述べる。(800字)
	和	文	教育, 芸	子どもたちに音楽を指導するときの思いや姿勢を述べた文を読み、自身の考えを述べる。(800字)
	和	文, 写	芸	作品に関する情報を紹介する文と雨のなかの鉄道の風景画写真より、自身が感じる魅力を述べる。(400字)
学校教育教員養成(教育発達(幼年教育))(前)	和	課	社, 教育	地域資源の乳幼児期の教育・保育への取り入れ方や子どもたちにもたらす学びについて、考えを述べる。(600字)
	和	文	人, 社	情報をうのみにせず自身の頭で考えるべきだという文より、情報を使いこなすために重要な能力を述べる。(600字)
学校教育教員養成(教育発達(特別支援教育))(前)	和	課 資	人 教育	人間にとっての自律とはどのようなことであるか、自身の考えを述べる。(600字) 問いに正しく答えることだけが学びではないという文より、教師としての子どもの意見の受け止め方を書く。(800字)
学校教育教員養成(教科教育(社会科教育・中等教育))(前)	和	文	社	組織のルールは男性に有利だという文より、組織規範とジェンダー規範との関係で生じる課題などを論じる。(1100字)

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
奈良教育大・教育 学校教育教員養成(教科教育(保健体育・中等教育))(前) 学校教育教員養成(伝統文化教育(書道教育))(前)	和	文	社, 教育	学校の部活動を地域に展開する方針を示す4つの資料より、学校や地域に与える影響と意義や課題などを書く。(600字)
	和	課	芸, 教科	漢字の書における5つの書体の成立と変遷に関することなどの概要について、論じる。(300字)
	和	写	芸, 教科	平安時代に書かれた仮名の書を示す図版より、作品名と書かれている内容や自身が感じた見どころを述べる。(300字)
学校教育教員養成(教科教育(美術教育))(前)	和	課	社, 教育	デジタル式の教材と紙の教材を用いた学習の利点と欠点を挙げ、授業での教材の使い分けについて考えを書く。(800字)
	和	課	自然, 教科	発掘調査に先立ち地中レーダー探査が実施されることについて、発掘調査の前に行うことの利点を述べる。(400字)
	和	課	教育	児童・生徒が学校生活のなかで休憩することの意義について、自身の考えを述べる。(600字)
	和	課	教育, 芸	学校教育における美術や図画工作の授業の意義について、自身の考えを述べる。(400字)
	和	課	教育, 生	学校生活を楽しくすれば朝寝坊が減ると断言できないという理由を説明し、学校ができることを述べる。(600字)
	和	文	文	文化財の保存と公開は両立が難しい問題だという文より、文化財の保存と公開のあり方について考えを述べる。(500字)
	和	文	社	組織のルールは男性に有利だという文より、組織規範とジェンダー規範との関係で生じる課題などを論じる。(1100字)
	和	文	社, 教育	学校の部活動を地域に展開する方針を示す4つの資料より、学校や地域に与える影響と意義や課題などを書く。(600字)
	和	文	教育	通知表の評価はあくまで物差し1つに過ぎないという記事より、筆者の主張について考えを述べる。(800字)
	和	文	教育, 芸	子どもたちに音楽を指導するときの思いや姿勢を述べた文を読み、自身の考えを述べる。(800字)
学校教育教員養成(教科教育(社会科教育・初等教育))(後) 学校教育教員養成(教科教育(保健体育・初等教育))(後) 学校教育教員養成(教科教育(音楽教育))(後)	和	文, 写	芸	作品に関する情報を紹介する文と雨のなかの鉄道の風景画写真より、自身が感じる魅力を述べる。(400字)
	和	資	芸, 教科	与えられたモチーフを片手で持ち、その手とモチーフについてバランスを考慮しながら実物大で鉛筆写生する。
	和	課	社, 教育	学校教員という職業の特徴について、他の職業と比較したうえで自身の考えを述べる。(600字)
	和	課	社, 芸	学習系の配信動画を使用して音楽の知識と技能を学ぶメリット・デメリットについて、考えを述べる。(800字)
	和	課	教育	学力テストの得点に影響を与える変数・学校に無理に行く必要はないということについて、考えを述べる。(1200字)
	和	課	教育, 芸	現在の学校教育の問題点を1つ挙げ、その問題解決のために美術や図画工作の授業が役立つことを述べる。(400字)
	和	文	人	複雑な問題にはわからないまま正確に対処するべきだという文より、筆者の主張について考えを述べる。(800字)
	和	文	政, 法	選挙での候補者の出自に関する誹謗中傷を紹介する記事より、出自のヘイトスピーチの歴史的背景などを書く。(900字)
	和	文	社, 教育, 保	ICTを活用した新たな体育のあり方を紹介する文より、体育の授業におけるICT活用の利点などを書く。(700字)
	和	文, 写	芸	麦畑で刈り入れをする人のいる風景画と作品に関する情報を紹介する文より、自身が感じる魅力を述べる。(400字)
学校教育教員養成(教育発達(特別支援教育))(後)	和	課	教育	子どもに寄り添うとはどのようなことであるか、自身の考えを述べる。(600字)
	和	文	教育	教育の一番の基本は学ぶ意欲をかき立てることだと述べた文より、筆者の言葉の表現について考えを論じる。(800字)
	和	文	政, 法	選挙での候補者の出自に関する誹謗中傷を紹介する記事より、出自のヘイトスピーチの歴史的背景などを書く。(900字)
学校教育教員養成(教科教育(社会科教育・中等教育))(後)	和	文	政, 法	選挙での候補者の出自に関する誹謗中傷を紹介する記事より、出自のヘイトスピーチの歴史的背景などを書く。(900字)
学校教育教員養成(教科教育(保健体育・中等教育))(後)	和	文	社, 教育, 保	ICTを活用した新たな体育のあり方を紹介する文より、体育の授業におけるICT活用の利点などを書く。(700字)
学校教育教員養成(伝統文化教育(書道教育))(後)	和	写	芸, 教科	中国唐時代に書かれた漢字の書を示す図版より、筆者や作品名のほか自身が感じとる見どころなどを述べる。(300字)
	和	写	芸, 教科	平安時代に書かれた仮名の書を示す図版より、作品名と書かれている内容や感じとった見どころを述べる。(300字)
学校教育教員養成(教科教育(美術教育))(後)	和	課	文, 人	不適切な湿度環境は文化財にどのような悪影響を与えるか、自身の考えを述べる。(400字)
	和	課	社, 教育	学校教員という職業の特徴について、他の職業と比較したうえで自身の考えを述べる。(600字)
	和	課	社, 芸	学習系の配信動画を使用して音楽の知識と技能を学ぶメリット・デメリットについて、考えを述べる。(800字)
	和	課	教育	学力テストの得点に影響を与える変数・学校に無理に行く必要はないということについて、考えを述べる。(1200字)
	和	課	教育, 芸	現在の学校教育の問題点を1つ挙げ、その問題解決のために美術や図画工作の授業が役立つことを述べる。(400字)
	和	課	芸, 教科	与えられたモチーフを片手で持ち、その手とモチーフについて実物大で鉛筆写生する。
	和	文	人	複雑な問題にはわからないまま正確に対処するべきだという文より、筆者の主張について考えを述べる。(800字)
	和	文	政, 法	選挙での候補者の出自に関する誹謗中傷を紹介する記事より、出自のヘイトスピーチの歴史的背景などを書く。(900字)
	和	文	社, 教育, 保	ICTを活用した新たな体育のあり方を紹介する文より、体育の授業におけるICT活用の利点などを書く。(700字)
	和	文, 写	芸	麦畑で刈り入れをする人のいる風景画と作品に関する情報を紹介する文より、自身が感じる魅力を述べる。(400字)
島根大・教育 学校教育Ⅰ類(前)	和	写	文, 人, 教科	つくられた時代が異なる多聞天像の彫刻を示す3つの写真より、3つの彫刻の類似と相違について説明を行う。(500字)
	和	文	人	ランキングの起源・比較の心理・人間としての尊重を述べた3つの文より、優劣をつける問題点などを論じる。(700字)
	和	文, 統	社, 教育	子どもの可能性を性別区分で制限することを危惧する文と図表より、ジェンダーへの学校の対応策などを書く。(860字)
岡山県立大・教育 養護教諭養成(前)	和	文, 統	自然, 教科	電圧と電流の関係を調べる実験・算数の概念の活用法を説明する文と図より、概念を用いる利点などを書く。(200字)
	和	文	人	人はコミットしたことを続けようとするという文より、養護教諭として取り組みたいことなどを述べる。(1000字)
	和	統	経, 社, 環, 教育	SDGs17の目標を示す図より、目標間に存在するトレードオフのような関係を理解することの意義を書く。(800字)

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
鳴門教育大・学校教育 学校教育教員養成(小学校・中学校教育(国語科教育))(前) 学校教育教員養成(小学校・中学校教育(英語科教育))(前) 学校教育教員養成(小学校・中学校教育(社会科教育))(前) 学校教育教員養成(小学校・中学校教育(音楽科教育))(前) 学校教育教員養成(小学校・中学校教育(体育科・保健体育科教育))(前) 学校教育教員養成(小学校・中学校教育(家庭科教育))(前)	和	統	経, 社, 環, 教育	SDGs17の目標を示す図より、目標間に存在するトレードオフのような関係を理解することの意義を書く。(800字)
高知大・教育 学校教育教員養成(幼児教育)(前) 学校教育教員養成(教育科学・教科教育・特別支援教育)(前)	和	文	人	人間は対話によってのみ真の自由の入口に立てるという文を要約し、学びの場での自由と対話の関係を述べる。(1100字)
福岡教育大・教育 特別支援教育教員養成(特別支援教育初等教育プログラム)(前) 特別支援教育教員養成(特別支援教育中等教育プログラム)(前) 初等教育教員養成(幼児教育プログラム)(前) 初等教育教員養成(小学校教育専攻プログラム)(前)	和	文	社, 教育	紙とデジタルの教科書の形態や教員の対応力で子どもの教育格差を危惧する記事より、学ぶ立場で考えを書く。(800字)
	和	課 課	教育 生	子どもの理想の遊び場について、自身の考えを述べる。(1000字) 持続可能な衣生活を送るための課題と解決方法、それを家庭科授業で取り扱う際に大切だと考えることを書く。(1000字)
	和	文	文, 経, 社	勤労国家として成長した日本の現代の課題を論じた文より、「勤労」をどうとらえなおすべきかなどを述べる。(1350字)
	和	文	教育	子どもは自ら学び育つ力を持つ能動的な学習者であるという文より、どのように教育すべきかなどを述べる。(750字)
	和	文	教育	読んで理解する表層構築にはテキストベースと状況モデルがあるという文より、子どもへの対応などを論じる。(550字)
	和	写	自己, 芸	人物を描いたドローイングの絵より、モデルを想像しながら読みとった内容に関連する経験や思いなどを書く。(500字)
	和	課 課	教育 生	子どもの理想の遊び場について、自身の考えを述べる。(1000字) 持続可能な衣生活を送るための課題と解決方法、それを家庭科授業で取り扱う際に大切だと考えることを書く。(1000字)
初等教育教員養成(人文・社会教育プログラム)(前/社会科)	和	文	文, 人, 法	地名を変えることはその土地を植民地的支配することになりうるという文より、地名の保存の見解などを書く。(1260字)
	和	文	文, 経, 社	勤労国家として成長した日本の現代の課題を論じた文より、「勤労」をどうとらえなおすべきかなどを述べる。(1350字)
	和	文	教育	子どもは自ら学び育つ力を持つ能動的な学習者であるという文より、どのように教育すべきかなどを述べる。(750字)
	和	文	教育	読んで理解する表層構築にはテキストベースと状況モデルがあるという文より、子どもへの対応などを論じる。(550字)
	和	写	自己, 芸	人物を描いたドローイングの絵より、モデルを想像しながら読みとった内容に関連する経験や思いなどを書く。(500字)
	和	課 課	教育 生	子どもの理想の遊び場について、自身の考えを述べる。(1000字) 持続可能な衣生活を送るための課題と解決方法、それを家庭科授業で取り扱う際に大切だと考えることを書く。(1000字)
初等教育教員養成(芸術・実技教育プログラム)(前/美術系) 初等教育教員養成(芸術・実技教育プログラム)(前/家庭系)	和	文	文, 経, 社	勤労国家として成長した日本の現代の課題を論じた文より、「勤労」をどうとらえなおすべきかなどを述べる。(1350字)
	和	文	教育	子どもは自ら学び育つ力を持つ能動的な学習者であるという文より、どのように教育すべきかなどを述べる。(750字)
	和	文	教育	読んで理解する表層構築にはテキストベースと状況モデルがあるという文より、子どもへの対応などを論じる。(550字)
	和	文	教育, 芸	音楽学習では自己の主張と他者との協調の両立が大切だという文より、なぜそれらの両立が大切なのかを書く。(800字)
	和	写	自己, 芸	人物を描いたドローイングの絵より、モデルを想像しながら読みとった内容に関連する経験や思いなどを書く。(500字)
	和	課 課	教育 生	子どもの理想の遊び場について、自身の考えを述べる。(1000字) 持続可能な衣生活を送るための課題と解決方法、それを家庭科授業で取り扱う際に大切だと考えることを書く。(1000字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(社会科))(前)	和	文	文, 人, 法	地名を変えることはその土地を植民地的支配することになりうるという文より、地名の保存の見解などを書く。(1260字)
	和	文	文, 経, 社	勤労国家として成長した日本の現代の課題を論じた文より、「勤労」をどうとらえなおすべきかなどを述べる。(1350字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(音楽))(前)	和	課	生	持続可能な衣生活を送るための課題と解決方法、それを家庭科授業で取り扱う際に大切だと考えることを書く。(1000字)
	和	文	教育, 芸	音楽学習では自己の主張と他者との協調の両立が大切だという文より、なぜそれらの両立が大切なのかを書く。(800字)
	和	写	自己, 芸	人物を描いたドローイングの絵より、モデルを想像しながら読みとった内容に関連する経験や思いなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(美術))(前) 中等教育教員養成(中等教育プログラム(家庭))(前)	和	課	生	持続可能な衣生活を送るための課題と解決方法、それを家庭科授業で取り扱う際に大切だと考えることを書く。(1000字)
	和	写	自己, 芸	人物を描いたドローイングの絵より、モデルを想像しながら読みとった内容に関連する経験や思いなどを書く。(500字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(書道))(前)	和	課	文, 芸, 教科 人, 芸, 教科	漢字の五書体・平仮名・片仮名について、それぞれの成り立ちを述べる。(400字) 書風の差異により思想の違いがわかるという文より、ある人物がベースとした書法について考えなどを書く。(400字)
	和	課	自己, 教育	自身が特別支援教育を担う教師をめざす理由と、そのために行ってきたことを述べる。(200字)
特別支援教育教員養成(特別支援教育初等教育プログラム)(後) 特別支援教育教員養成(特別支援教育中等教育プログラム)(後)	和	文	人	短歌が上手になる3つの方法を述べた記事を要約し、それら3つにおいて教師として取り組みたいことを書く。(825字)
	和	課	科, 教育	教育におけるAIの活用について、考えを述べる。(600字)
	和	文	人	利他の大原則は見返りは期待できないことだと主張する文より、小学校の授業や指導の構想などを論じる。(720字)
初等教育教員養成(小学校教育専攻プログラム)(後) 初等教育教員養成(人文・社会教育プログラム)(後)	和	文	社	ハザードマップがうまく活用されていない現状を危惧する文より、利用が重要だとされる理由などを述べる。(800字)
	和	課	科, 教育	教育におけるAIの活用について、考えを述べる。(600字)
	和	文	人	利他の大原則は見返りは期待できないことだと主張する文より、小学校の授業や指導の構想などを論じる。(720字)
初等教育教員養成(理数教育プログラム)(後)	和	文	社	ハザードマップがうまく活用されていない現状を危惧する文より、利用が重要だとされる理由などを述べる。(800字)
	和	文	科	正確な理論は正確な観察言明の前提であるという文より、理科教師として実験に必要な配慮などを述べる。(625字)
	和	課	科, 教育	教育におけるAIの活用について、考えを述べる。(600字)
中等教育教員養成(中等教育プログラム(理科))(後)	和	文	科	正確な理論は正確な観察言明の前提であるという文より、理科教師として実験に必要な配慮などを述べる。(625字)

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
佐賀大・教育 共同教員養成(教育支援探究)(後) 共同教員養成(小中連携教育(小学校教育主免))(後) 共同教員養成(小中連携教育(中学校教育主免))(後)	和	文	社, 教育	若年層の生活にスマホの使用が与える影響を述べた文より、子どもの思いに対して大人がすべき支援を書く。(800字)
大分大・教育 学校教育教員養成(初等中等教育)(後) 学校教育教員養成(特別支援教育)(後)	和	文	人, 教育	文字から学ぶことが経験の狭さを脱する道だという文を要約し、新しい事態への対応に必要な教育を述べる。(600字)
	和	文	教育	個性が奨励される社会における学校の変化を述べた文より、子どもたちに生じる問題などを述べる。(600字)
宮崎大・教育 学校教育(小中一貫教育(小学校主免))(後)	和	文	教育	叱れば人が育つということへの批判を述べた文より、教員の立場で問題のある児童への対応方法などを書く。(1050字)
琉球大・教育 学校教育教員養成(教科教育小中学校教育(社会科教育))(前) 学校教育教員養成(教科教育小中学校教育(生活科学教育))(前) 学校教育教員養成(学校教育)(前)	和	課	教育, 生	エシカルファッションを説明し、それを家庭科で取り上げる場合どのような授業に取り組みたいかを書く。(800字)
	和	文	教育	学校は子どもたちが今の自分を生きる生活の場所だと述べた文より、筆者の問いに対する答えなどを書く。(1500字)
	和	文, 統	政, 社, 教育	日本の子育て政策の現状と課題を述べた2つの文と3つの図より、子育て罰に対する自身の見解などを論じる。(1800字)